



かがやかしい八潮市誕生のスタートを祝し、一月十五日、約八百名の参加者を一同に会し、午前十時から八潮中学校体育館において盛大に市制施行記念式典が行なわれました。

八潮市スタート 記念式典盛大に行なわる

当日は雨天のために参加者の出足が心配されましたが、式典の時刻が近づくにつれて、市内の参加者をはじめ、市外の来賓者がぞくぞく会場につめかけ、受付では係員が目廻る忙しさに、出足を心配した市役所関係者はホッとしました。表情で、終始、参加者の応待に追われていました。

午前十時、体育館に約八百名の多数の参加者が見守る中、おそかに市制施行記念式典が始まりました。開式のことば、君が代せい唱に続き、太田市長の式辞があり、市長はこのあいさつの中で「八潮市が誕生されたにあつては、過去において、歴代首長ならびに住民各位がよく自治の精神を発揮し、文化をおこし、産業をすゝめ、公共の利便をはかり、熱誠真摯な努力を続けられた賜で、またこの間、常にあたゝかく郷土の進展を見守り、育成のために国ならびに県当局からいたゞいた周到懇切なるご指導のお陰によるものと深く感謝申し上げます、日本の意義ある日を機に出発の年として意を新たに首都近郊の都市づくりを精進したい」とのあいさつがありました。

さらに市制施行及び庁舎竣工報告、三二五名の功労者表彰及び感謝状の授与等があり、また、県知事をはじめ多くの来賓の方々から八潮市の限らない発展を期待する旨の祝辞が述べられました。このほか、謡曲、詩吟、民謡等式典のために多彩な催しが行なわれました。

最後に、参加者全員で万才三唱し、式典の幕を閉めました。

市制施行記念式典に際し、次の方々が市制功労者として表彰を受けられました。(敬称略)

- 一〇二名の
市制功労者を表彰
- 自治功労者
 - 恩田理三郎 会田悠治 鈴木慶助 高橋鷹松 高橋進市 会田喜一 田中政吉 昼間盛一 田
 - 教育功労者
 - 国枝福松 恩田正勝
 - 福祉功労者
 - 岡田堅二郎 佐藤保 藤村輝子 秋山佐吉 渋谷泰一 黒田タケ 鶴田トク 小倉清右衛門
 - 産業功労者
 - 小沢正一
 - 納税功労者
 - 小原賢吉 織原久四郎 小倉正治 故飯山信一
 - 衛生功労者
 - 池田正治 前島興次郎 田中弥太郎
 - 消防功労者
 - 大山謹吾 織田正吾 荻野銀蔵 小沢初次郎 松田忠太郎 平川 朗 石井常蔵 会田仙太郎 篠木代八 藤波岩蔵 浜野専治 金子長二 石崎松太郎 栗原宏一 会田信助 飯山利助 大月 昭 野崎竹松 栗原正雄 故岡 田吉永

やしお 広報

昭和45年3月31日第三種郵便物認可 昭和47年2月10日発行 (毎月1回10日発行) 定価1部10円 発行埼玉県八潮市 電話(96)2111 番



昭和47年自治省告示第1号として、1月15日、県下で34番目(全国で614番目)に八潮町が市の仲間入りをしました。(八潮中学校体育館にての記念式典から)

住民登録

行政の出発は、なんといっても正確に住民を把握することから始まるわけで、住民の実態が正確に反映しないかぎり、完全な行政は行なえません。そのためにはまず、住民登録をしましょう。

行政相談

市の行政相談は、毎月第3金曜日(当日が祭日の場合は第3木曜日)に開きます。市のことで困っていることや要望がありましたら、行政相談をご利用ください。場所は1階市民相談室 午前10時—午後3時

'72
No. 81
2月

人口と世帯

2月1日現在 (住民基本台帳)

人口	43,703 人
男	22,932 人
女	20,771 人
世帯	11,491世帯
前月比 (509人)	111世帯増